

子どもの育ちは「遊び」から！

7月13日(土)

子どもプレーパークオープン

7月13日(土)10:00~
オープニングイベント開催
みんな遊びに来てね！



子どもプレーパークでは汚れを気にせずペンキで遊ぶこともできます

市では、子ども基本条例に基づく事業の一として、市民活動団体「With Wind」と協働で子どもプレーパークを開設します。同パークでは、大人から干渉されることなく、子どもが、自分のやりたいことに限界まで挑戦することができます。

子どもに、本来の遊びの楽しさを知ってもらい、健全な成長・発達を支援しようという新たな市の取り組み。子どもプレーパークに、ぜひ一度、遊びに来てください。

●日程
▽毎月第2〜4土曜日、第4日曜日(8月24日(土)、同25日(日)、10月12日(土)、12月28日(土))は休み

▽7月22日(月)〜8月31日(土)の毎週水〜金曜日(8月10日(土)〜同20日(火))は休み

*日程は変更の場合あり。
市広報紙毎月1日号の

●施設だより」で確認を
●時間 午前10時〜午後4時
●場所 メイトム宗像・本館横
●その他 毎月第4日曜日 午前10時〜午後7時に、メイトム宗像・別館(旧青少年センター)で中高生の居場所づくり事業も実施

- Q「プレーパークってなに？」
A「子どもがやりたいこと・遊びたいことを、可能な限り何でもできることを目指した遊び場です。「冒険遊び場」とも呼ばれます。」
- Q「どんな遊びをしてくれるの？」
A「決められた遊びはありません。子どもたちが自らしてみたいことを考え、チャレンジしたい遊びが広がります。」
- Q「普通の公園と何が違うの？」
A「たき火や穴掘り、泥遊び、基地作りなど、一般の公園では禁止されているさまざまな遊びをすることが出来ます。木材や工具を使って遊具などを作ることできます。また、子どもの遊びの支援者として、プレーワーカーが配置されます。」
- Q「プレーワーカーってどんな人？」
A「子どもが遊ぶ環境を整える役割を担う「子どもの視点」で活動する大人です。子どもが自分で遊びたいという気持ちになるよう、子どもの心に働きかけたり、一緒に遊び場を作ったりします(遊具などの製作、安全点検など)。」
- Q「子どもケガをしたら誰が責任をとるの？」
A「子どものケガは子どもの責任です。プレーパークでの活動の基本は「自分の責任で自由に遊ぶ」というものです。子どもは遊びを通じて、生きる力やコミュニケーション能力を身に付けます。安全・安心だけを求めれば、禁止事項ばかりが増え、子どもにとって息苦しい場所となってしまいます。自分で考え、行動し、その結果に対して責任を持つ。そうすることで、子どもの自由な遊び場が保障されるだけでなく、子ども自身も大きく成長します。もちろん、子どもが予測できない危険は、プレーワーカーが事前に取り除き、注意を喚起します。」

【With Wind代表・藤原浩美さんのメッセージ】 宗像を子どもたちの笑い声があふれるまちに

私の所属しているむなかたプレーパークは、「心が折れるより、骨が折れる方がましだ」「ケガと弁当は自分持ち」「子どもの遊び=生きること」をモットーに、子どもが育つ環境のモデルをつくらうと、平成20年に発足しました。昨年4月、「宗像市子ども基本条例」が制定されたことで、同条例の具現化のため、同6月4日、むなかたプレーパーク、よかつちゃライブ実行委員会を含む、趣旨に賛同する団体や個人で「子ども支援ネットワークWith Wind」を立ち上げました。

子どもが育つ環境についての課題や政策、市民活動などに一緒に取り組むことができるのは、とても幸せなことだと思います。今後も、市と協働して、子どもが育つ環境の改善に向け、私たちの持つ

持っている専門性やネットワークなどを活用してもらえよう、努力していきたいと思っています。

また、中学生以上の青少年の居場所づくりにも取り組みます。現代の子どもたちの成長にとって、外遊びや自ら遊びを見つける体験は、人間の存続に関わるほど大切です。今後、市に子ども主体の遊び場がどれだけ増えているか。子どもたちの育ちを理解し、支える大人がどれだけ増えているか。私たちは挑戦していきます。一緒に活動する人を募集します。一緒に楽しみましょう。



問い合わせ先
▽子ども育成課 ☎(36)1214
▽With Wind(藤原) ☎(37)0262